



2020年12月期第3四半期 決算説明会

代表取締役社長執行役員
富安 司郎

2020年11月12日



1. 2020年12月期第3四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2020年12月期 業績予想
4. トピックス

1. 2020年12月期第3四半期 業績の概要



<国内>

新型コロナウイルス影響による展示会中止をはじめとする営業活動自粛
および消費税増税前駆け込み需要の反動減などにより減収

<海外>

- 北米 : 新型コロナウイルス影響によるトラクタの巣ごもり特需はあったものの、上期までの仕入エンジン入荷遅れに伴うOEM先への出荷減影響により減収
- 欧州 : 足許では回復傾向も春先のロックダウンで現地代理店一時閉鎖等により現地売上が伸びず、当社およびフランス販売子会社からの出荷影響が残り減収
- 中国 : 引き続き田植機が好調に推移
- アセアン : インドネシア入札の減少により減収
- アジア : 韓国、台湾が好調に推移

<新型コロナウイルス影響(当社分析)>

売上高影響額: 国内△28億円、海外△7億円、計△35億円

連結業績の概要

(2020年1月1日～2020年9月30日)

(単位: 億円、%)

	19/12期		20/12期		前年同期比
	3Q実績	比率	3Q実績	比率	
売上高	1,210	100.0	1,116	100.0	△ 94
(国内)	960	79.3	874	78.3	△ 86
(海外)	250	20.7	242	21.7	△ 8
営業利益	45	3.7	32	2.8	△ 13
経常利益	32	2.7	28	2.5	△ 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	1.8	24	2.2	+ 3
為替平均 レート (円)	米ドル	109.6	107.7	△1.9	
	ユーロ	123.2	120.6	△2.6	

国内売上高



前年同期比
△86億円

農機製品・作業機は、消費増税前駆け込み需要の反動減と新型コロナウイルス影響により減収、部品・修理収入は堅調に推移したものの全体では減収

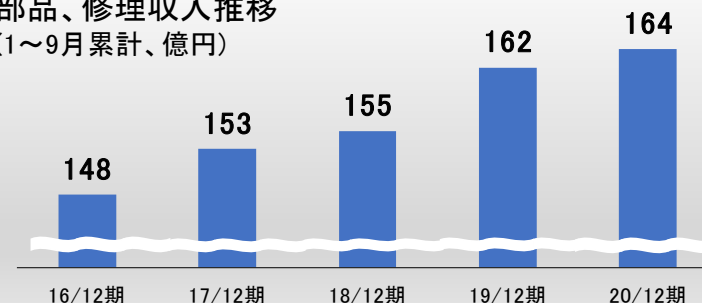
(単位:億円)

		19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比	
					備考
農機 製品 関連	整地機	213	173	△ 40	トラクタ:△37
	栽培機	80	64	△ 16	田植機:△15
	収穫調製機	141	120	△ 21	コンバイン:△16
	小計	434	357	△ 77	
	作業機	172	153	△ 19	
	部品	118	120	+ 2	
	修理収入	44	44	+ 0	
	小計	334	317	△ 17	
	計	768	674	△ 94	
	施設工事	40	56	+ 16	
その他農業関連	152	144	△ 8		
合計	960	874	△ 86		

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品は、消費増税前駆け込み需要の反動減、新型コロナウイルス影響による展示会中止や営業活動自粛により77億円の減収
作業機は農機製品の減少に連動し減収
- ✓ 部品売上、修理収入は引続き堅調に推移

■ 部品、修理収入推移
(1~9月累計、億円)



海外売上高

前年同期比
△8億円

韓国、台湾、中国向け売上が増加するも、北米、欧州、アセアンの減少により全体では減収

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比	
				備考
北米	98	87	△ 11	トラクタ:△11
欧州	78	71	△ 7	トラクター:△1 芝刈機:△5
中国	1	6	+ 5	田植機:+5
アセアン	10	6	△ 4	トラクタ:△3 コンバイン:△1
その他	31	41	+ 10	トラクタ:+2 コンバイン:+8
製品計	218	211	△ 7	
部品その他	32	31	△ 1	
連結売上高合計	250	242	△ 8	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米 : トラクタの巣ごもり特需はあったものの、上期までのエンジン入荷遅れによる出荷減影響により減収
- ✓ 欧州 : 足許では回復傾向も、春先のロックダウン影響払拭出来ず減収
- ✓ 中国 : 引き続き田植機半製品出荷増により増収
- ✓ アセアン: インドネシア向けトラクタの減少により減収
- ✓ その他 : 韓国および台湾向け出荷増により増収

営業利益

前年同期比

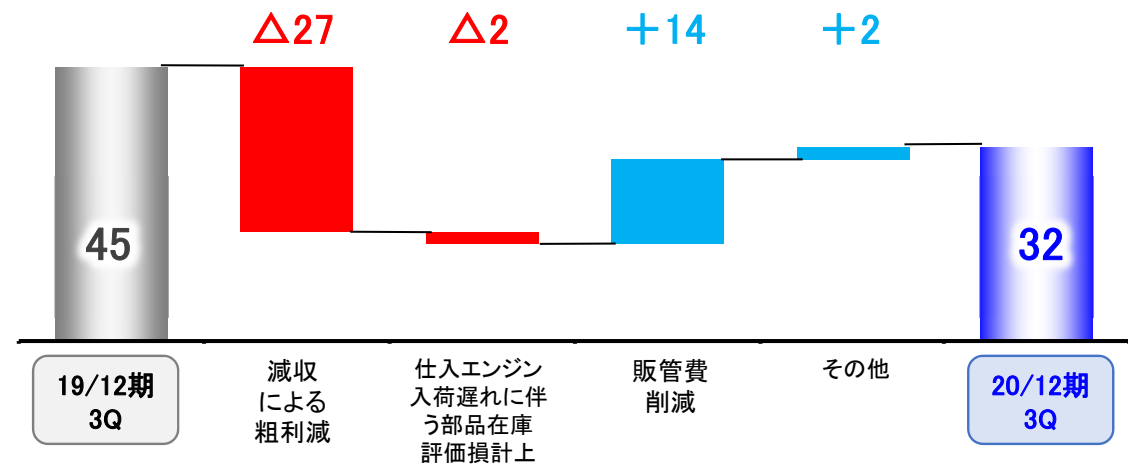
△13億円

販管費削減はあるものの減収による粗利益減少や部品在庫評価損計上等により前年同期比減益

(単位:億円、%)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比
売上高	1,210	1,116	△94
売上総利益	358	331	△27
粗利率	29.6%	29.7%	+0.1%
販管費	313	299	△14
人件費	184	180	△4
その他経費	129	119	△10
営業利益	45	32	△13

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
△2	△2	△0	+0

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
△4億円

為替差損の縮小や、東風井関の収益改善および当社出資比率低下に伴う持分法投資損失の縮小等により減益幅を圧縮するも前年同期比減益

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	前年同期比
営業利益	45	32	△13
金融収支	△6	△5	+1
その他営業外損益	△7	+1	+8
経常利益	32	28	△4
特別利益	1	7	+6
特別損失	△2	△1	+1
税前利益	31	34	+3
税、税調整額	△10	△10	±0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	24	+3

営業外損益増減内訳(前年同期比)

持分法投資損失の縮小	+7億円
為替差損の縮小	+2億円

・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	増減
持分法投資損益 (営業外)	△10	△3	+7
持分変動損益 (特別)	-	7	+7

バランスシート(連結)

ISEKI

前年同期比

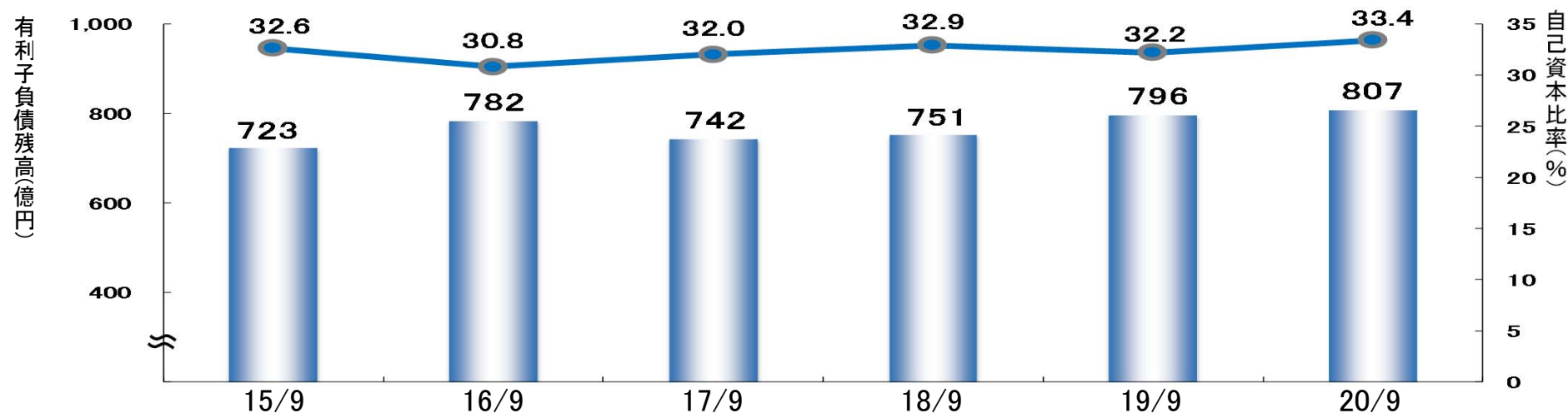
国内外売上高減少により売上債権は減少、
一方、前年同期の増税前駆け込み需要影響により棚卸資産は増加

(単位:億円)	19/9月末	20/9月末	増減		19/9月末	20/9月末	増減
現金	70	75	+5	仕入債務	404	358	△46
売上債権	379	333	△46	有利子負債	796	807	+11
棚卸資産	526	535	+9	(内借入金)	(724)	(728)	(+4)
その他流動資産	55	42	△13	(内リース債務)	(72)	(79)	(+7)
(内短期貸付金)	(28)	(15)	(△13)	その他負債	219	192	△27
流動資産計	1,030	985	△45	負債計	1,419	1,357	△62
有形固定資産	974	967	△7	純資産	700	705	+5
(リース資産)	(68)	(72)	(+4)	(利益剰余金)	(184)	(187)	(+3)
無形固定資産	13	15	+2	(有価証券評価差額金)	(2)	(0)	(△2)
投資その他資産	102	95	△7	((退職給付に係る調整累計額)	(5)	(10)	(+5)
(内投資有価証券、出資金)	(58)	(52)	(△6)				
固定資産計	1,089	1,077	△12	負債・純資産計	2,119	2,062	△57
資産合計	2,119	2,062	△57				

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

リース債務の増加により有利子負債増加
D/Eレシオは前年同期並み



借入金・社債	631	697	671	688	724	728
リース債務	92	85	71	63	72	79
有利子負債 計	723	782	742	751	796	807
D/Eレシオ	1.05倍	1.19倍	1.05倍	1.05倍	1.14倍	1.14倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

2. 国内外市場の動向



国内農機市場の動向

国内農機需要

2019年10月の消費増税の駆け込み需要の反動と新型コロナウイルスの影響も重なり、2018年の駆け込み需要発生前より下回る水準

■ 農機需要〔業界出荷〕(主要9機種・移動年計)



※主要9機種：トラクター、コンバイン、田植機、耕耘機、乾燥機、籾摺機、バインダー、ハーベスター、トリートメント
 出所：日農工出荷統計より当社推計

国内農機出荷と当社実売状況



当社実売

当社実売は弱含みも、新型コロナウイルス影響がある中、業界を上回る

主要9機種 前年伸長率(金額、移動年計) ※当社推計

(単位: %)

		2017年/10月 ～2018年/9月	2018年/10月 ～2019年/9月	2019年/10月 ～2020年/9月	2020年 1月～9月
業界	(出荷金額)	96%	115%	75%	76%
当社	(実売金額)	98%	105%	77%	82%

※主要9機種:トラクタ、コンバイン、田植機、耕耘機、乾燥機、籾摺機、バインダー、ハーベスター、トリートメント

■ 経営継続補助金

新型コロナウイルス感染拡大防止を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備導入へ（例：人手による植付作業を自動化する野菜移植機）

令和2年度第2次補正予算額（200億）

+

追加予算方針(441億円)

■ 令和3年度 農林水産関係予算概算要求

スマート農業総合推進対策事業(55億円)

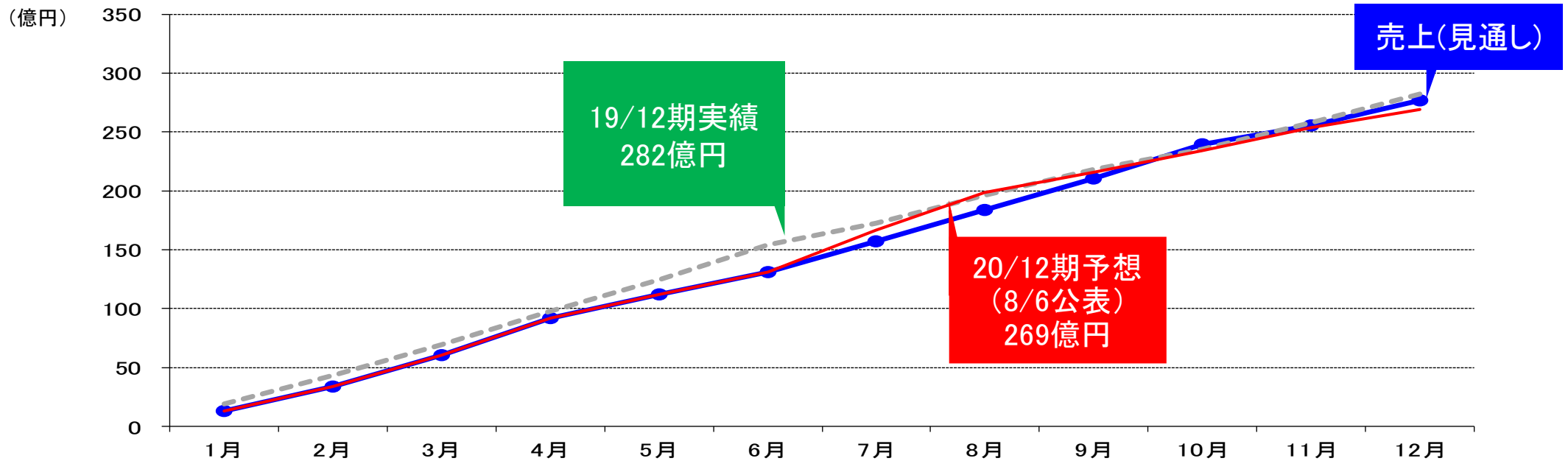
⇒スマート農業の社会実装・実践を加速化

海外製品売上の状況

ISEKI

海外
売上状況

ほぼ公表予想どおりの見通し



※製品ベース。「部品 その他」は含まず

海外市場の動向(北米)

北米

- ・コンパクト市場は、コロナ禍による生活スタイル変化や各社販売推進により、5月以降強含みで推移
AGCO社実売も市場を上回り堅調
- ・当社売上は、上期エンジン入荷遅れ影響あるも、下期内製エンジン搭載新商品投入と市場の伸びに伴い前年比増で推移

1. 市場の動向

(単位:千台、%)

区分(PTO馬力)	40HP以下 (コンパクト)	40~100HP (ユーティリティ)	100HP以上
2019年1-9月	141.8	48.4	15.4
2020年1-9月	166.3	53.6	14.7
増減率	117%	111%	96%

(出所:AEM統計)

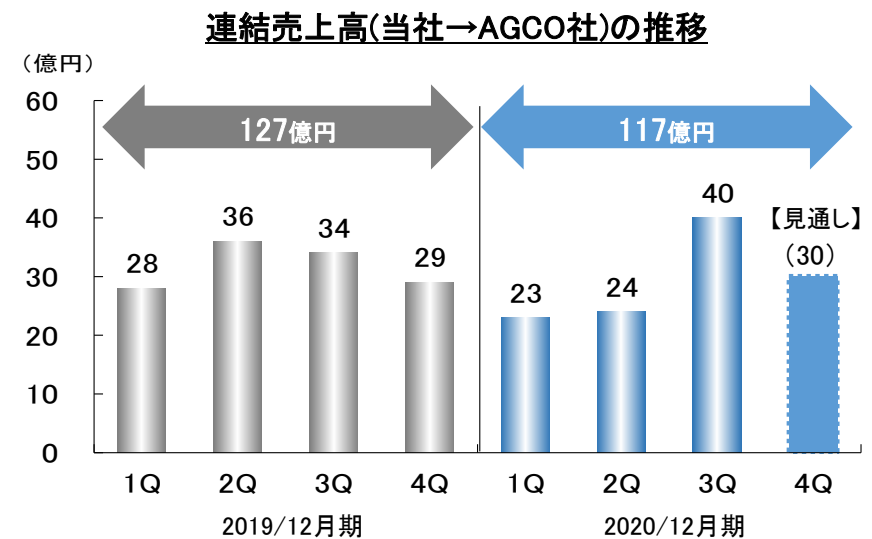
2. AGCO社(OEM先)の状況

・実売台数(20/1-9月)

- コンパクト :前年同期比 129%
- ユーティリティ :前年同期比 118%

3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(20/1-12月) :前期比 92%



海外市場の動向(欧州)

欧州

5月下旬以降の各国規制緩和に伴い段階的に店舗営業は再開、自治体の景観整備予算縮減の動きに伴い、プロ向けの需要回復は遅れている一方、コンシューマー向けは回復傾向

1. 市場の動向

<景観整備市場>

- ・3月中旬～5月上旬頃迄、ロックダウンに伴う現地小売店舗閉鎖により、農機、景観市場の需要が低迷。
- ・5月下旬以降、現地小売店舗の営業が段階的に再開。足許、感染再拡大によるロックダウンの動きはあるも、エッセンシャルビジネスとの認識のもと営業継続。

2. 現地の実売状況

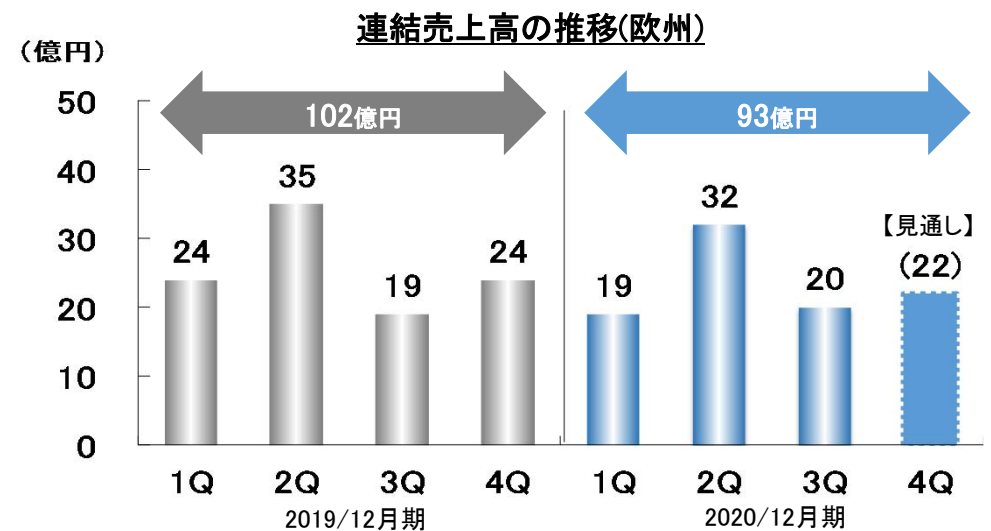
・実売台数(20/1-9月)

➤ 現地販売代理店 : 前年同期比 85%

・販売子会社(ISEKIフランス)の現地小売りは、前年同等まで回復

3. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(20/1-12月) : 前期比 68%



海外市場の動向(アセアン:タイ)

ISEKI

タイ

昨年末からの干ばつにより、農家の家計状況・農機需要に影響はあるものの、9月以降雨量は総じて回復傾向

1. 市場の動向

- ・昨年来の干ばつにより農家の家計状況・農機需要に影響。一方、地域によって差はあるが、9月以降全体雨量は回復してきており、今後需要の回復を期待。

2. 現地販売会社[IST Farm Machinery]の状況

- ・実売台数(20/1-9月)
 - アセアン戦略トラクタ : 年同期比 75%
- ・大規模イベントは自粛中ながら、オンラインの活用や各ディーラーは小規模な展示会を増加させるなど、形を変えた営業活動を加速・推進。サービス向上に向けた取組みも強化。

3. ISEKIタイランドの取り組み * 当社100%出資子会社

- ・販売代理店の営業・サービス支援を強化
販売促進策、技術サービスをはじめ代理店の人材育成等に IST社と連携しながら注力

4. 当社の売上・受注状況

出荷・受注(20/1-12月) : 前期比 55%

海外市場の動向(アセアン周辺諸国)

ISEKI

アセアン 周辺諸国

- ・インドネシア: 政府入札はコロナ対応に政府予算が充当されたことから下期入札なし
- ・ミャンマー : 新型コロナウイルス影響による販売活動への制限はあるものの、現地実売は堅調

1. 市場の動向

<インドネシア>

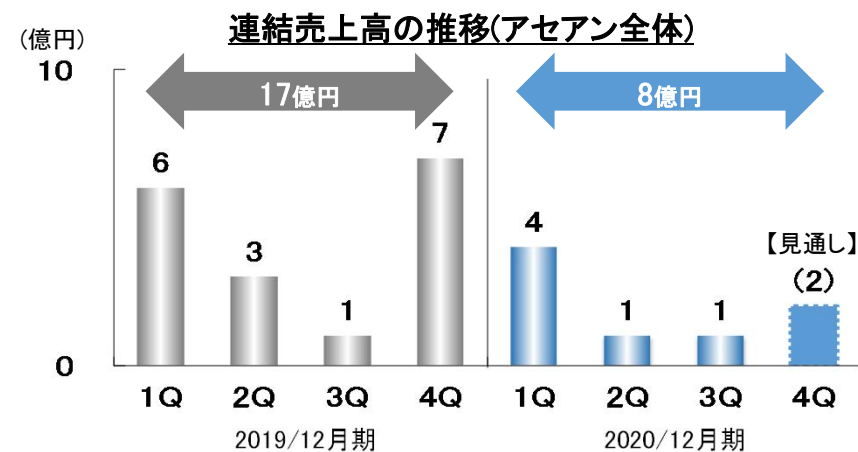
- ・政府入札は上期は前年比減少、下期は実施なし

<ミャンマー>

- ・機械化が加速している市場、コロナ禍でも現地実売堅調

2. 当社の状況

- インドネシア: 入札ボリューム減少で前年同期比減少
- ミャンマー: IST社を通じ販売拡大



【ミャンマー向け】
・トラクタ
・汎用コンバイン



PT.井関インドネシア(生産子会社)

ISEKI

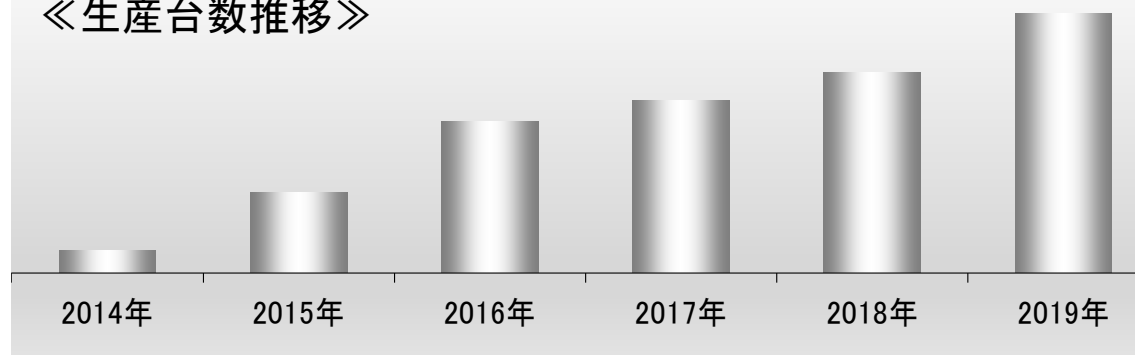
PT.井関
インドネシア

アセアン、北米向け減少により、1～9月の生産は計画未達も、生産性改善等により黒字定着。
海外で稼ぐためのベース基地として一層の収益体質強化を図る

(単位:台、億円)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 実績	2018年 実績	2019年 実績	2020年1-9月	
							計画	実績
生産台数	1,100	3,900	7,300	8,400	9,700	12,600	10,000	7,550
営業利益	△3	△4	△3	3	1	3	3	2

《生産台数推移》



海外市場の動向(中国)

中国

食糧確保に向け政府からコメを中心とした穀物生産が強力に推進されていることや、請負業者の移動制限により省内での農機需要が喚起され、乗用田植機は堅調

1. 中央政府補助金

(単位:億元)

2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
238	238	237	186	186	180	180

2. 農機業界の動向 機種別 前年伸長率(台数) (単位:%)

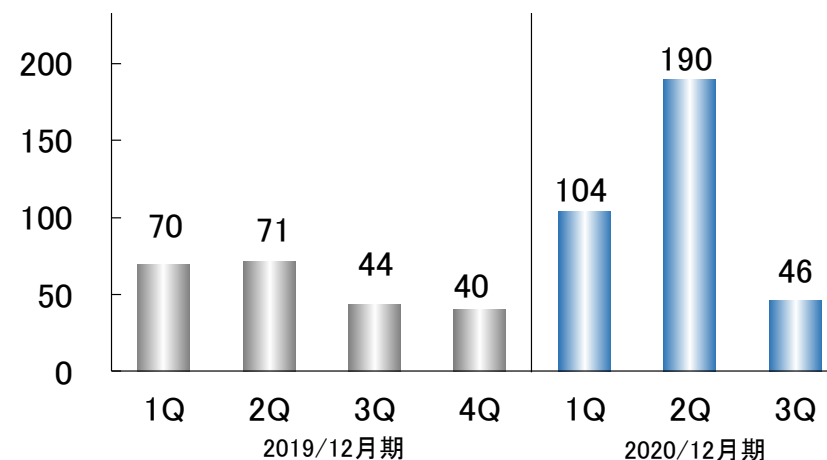
	2018/1~9月	2019/1~9月	2020/1~9月
田植機(乗用)	81%	95%	137%
コンバイン(汎用、自脱)	74%	84%	110%
トラクタ(大中型)	77%	111%	133%

※(出所)中国農業機械工業協会

3. 東風井関の状況(2020年/1-9月、現地実売台数)

- 乗用田植機 : 前年同期比 308%
- トラクタ : " 112%
- 乗用管理機 : " 大幅増加

東風井関売上高推移(現地通貨ベース)



海外市場の動向(その他)

ISEKI

東アジア

- ・韓国:春シーズンの田植機市場は新型コロナウイルス影響は見られずも、大型化や農地集約影響などで前年比微減。一方で大型化、高性能化と日本製へのニーズが高まる
- ・台湾:大型農機購入補助金制度が施行され前年比大幅増

1. 市場の動向

<韓国>

新型コロナウイルス影響は見られずも、大型化や農地集約の影響などで前年比微減。一方、農機の大型化、高性能化と日本製へのニーズが高まっている

<台湾>

2020年も2019年同様、大型農機購入補助金制度施行により、トラクタ、コンバイン共に需要が拡大



2. 当社の状況

➤ 韓国:

前期に引続き、韓国大手の農機メーカー「東洋物産グループ」の販路で、当社ブランドのフラッグシップ機トラクタ「TJシリーズ」、コンバイン「HJシリーズ」を販売
・出荷・受注(2020年/1-9月)

田植機	: 前年同期比	87%
コンバイン	: "	162%
トラクタ	: "	200%

➤ 台湾:

現地販売店を通じ、トラクタ、コンバイン、田植機を販売
・出荷・受注(2020年/1-9月)

トラクタ	: 前年同期比	268%
コンバイン	: "	187%

3. 2020年12月期 業績予想



2020年12月期 連結業績予想

ISEKI

業績 予想

・当第3四半期では、新型コロナウイルス感染症による当社業績への影響は縮小しつつあるも、国内外では同感染症の再拡大が顕在化し、経済的影響は依然として不確実な状況
⇒8月6日公表予想を据え置き、配当予想も未定を継続

1. 通期連結業績予想

(単位: 億円)

	19/12期 実績	20/12期 ※1 予想	増減 前期比
売上高	1,499	1,445	△54
(国内)	1,177	1,145	△32
(海外)	322	300	△22
営業利益	27	11	△16
経常利益	11	2	△9
親会社株主に帰属する 当期純利益	7	2	△5
為替 レート(円)	米ドル 109	107	△2
	ユーロ 122	120	△2

※1: 2020年8月6日公表予想

2. 配当予想

(単位: 円)

	18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 ※2 予想
期末配当	30	30	未定

※2: 2020年5月15日公表予想

4. トピックス



広域販売会社の再編

～2018年
広域10社

- ㊦セキ北海道
- ㊦セキ東北
- ㊦セキ信越
- ㊦セキ関東
- ㊦セキ北陸
- ㊦セキ東海
- ㊦セキ関西
- ㊦セキ中国
- ㊦セキ四国
- ㊦セキ九州



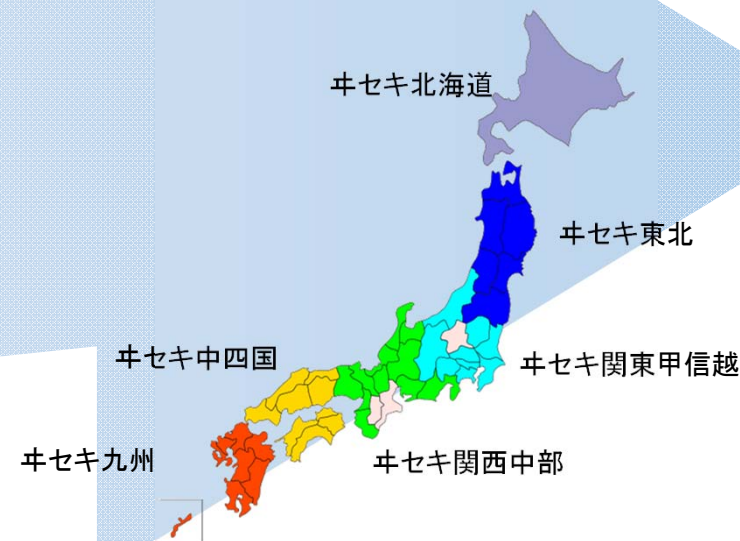
2019～2020年
広域7社

- ㊦セキ関東、㊦セキ信越
- ㊦セキ関東甲信越
- ㊦セキ関西、㊦セキ東海
- ㊦セキ関西中部
- ㊦セキ中国、㊦セキ四国
- ㊦セキ中四国

2021年1月
広域6社

㊦セキ関西中部、㊦セキ北陸

㊦セキ関西中部



アグリ山崎スマート農業実証コンソーシアム

✓産官学が連携し、ロボットやICT技術など最新技術導入による
輸出用高品質米生産体系での環境保全型スマート農業の実証

〈構成員〉東京大学大学院農学生命科学研究科、ハイパーアグリ(株)、(株)中セキ関東甲信越、茨城県農業総合センター、茨城県県西農林事務所、東京農業大学、(有)アグリ山崎



茨城県坂東市にて開催された現地検討会(2020年9月25日)



当社収量コンバインとロボットトラクタの協調作業による作業効率化

新商品発表のお知らせ

- ✓ 排出ガス規制に適合した自社製エンジン搭載商品
- ✓ ロボット技術・ICT等を活用したスマート農機
- ✓ 低価格・シンプル仕様トラクタ（2020年10月先行発表）

動画配信による幅広い方へのアピール



発表日時	2020年12月9日(水) 15:00(予定)
発表テーマ	「環境に優しい井関エンジン」 「持続可能性に貢献するスマート農機・ICT」
形式	・井関農機公式YouTubeによる動画配信（国内商品） ・ホームページ、メディア発表

将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。